

ONCC 第 10 期生 ぶらっと散策 3 第 10 回 春日神社コース

日 時：2022 年 11 月 10 日(木) 出発：午前 10 時 解散：午後 12 時

天 候：快晴

出席者：受講生 31 名、CA2 名 計 33 名

午前 9 時 50 分に緑地公園東中央広場に集合し、CA さんから本日の予定・注意事項の説明を受けた後、1 班を先頭にして出発しました。

今回は、ガイドさんの案内はありません。

本日の探訪コースは、「子鹿橋」⇒「いなり山公園」⇒「西照寺」⇒「春日地藏」⇒「春日神社」⇒「春日遊園」⇒「東泉丘第 4 公園」⇒「民家集落博物館」のルートで散策しました。



【西照寺は、元禄 5 年(1692 年)の記録に「寛永 8 年(1631 年)門徒共」開基とあり、寺は下新田村が成立して間もない頃に関かれたとみられます。ただ、寛永 14 年(1637 年)の記録には「惣道場」と記録され、まだ西照寺と言わなかったようです。元禄 5 年には西照寺と記録されていますから、本尊が授与されたという延宝 7 年(1679 年)に西照寺と名乗ることが許されたのではないのでしょうか】



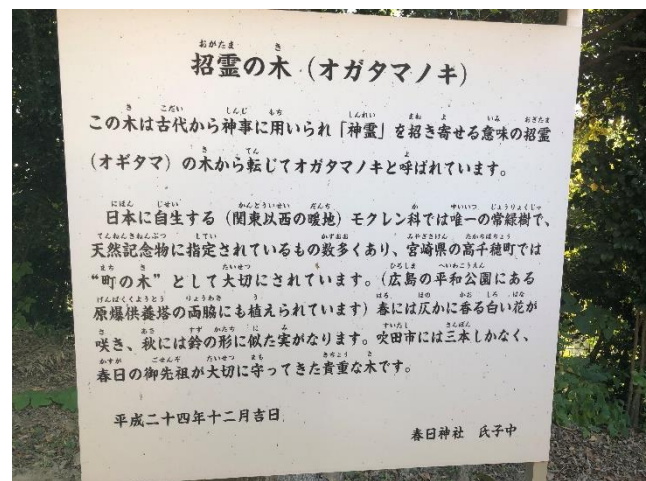
【春日地蔵尊：祀られている6体の石仏は、嘉永2年(1849年)に5月の大雨の時、水田から掘り出されたといひます。四方講という地蔵を祀る組織がつくられ、現在は春日地蔵講と名が改められて、お祀りを続けています。現在も年番制で「トヤ(トウヤ)」という、その年のお祀りを主宰する2家が決められ、毎年8月24日に地蔵盆と盆踊りを行っています。】

やっと春日神社に到着しました。ここで「お茶休憩」です。

【春日神社は下新田村の産土神で、昭和28年(1953年)に下新田村が吹田市との合併にあたり、この神社の名前にちなんで旧下新田の地域を春日としたといひます。春日神社は元禄5年(1692年)の記録によって慶安元年(1648年)の勧請であることがわかります。伝承では下新田村の開墾が主として佐井寺村の人によって行われたことから、佐井寺村の氏神を勧請したため、春日明神を祀るようになったといわれています。】



この後、細くて歩きにくい坂道が続いたため、先頭と最後尾の距離が長くなることがあり、時々先頭に「ストップ」のかかる事がありました。





午後 12 時頃、「日本民家集落博物館」に到着しました。ここで入館する人と入館しない人に分かれて解散しました。

本日は、晴天に恵まれて最高の散策日和でした。皆さんお疲れ様でした。

記録：3 班